



メーカー管理用です。

施工説明書

シャワートイレ PA シリーズ

〈オートフラッシュ C (シャワートイレ分岐付タイプ) 対応型含む〉

CW-PA21 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
 なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
 お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
 ※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
 ※定期的な点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

お客さまへ

本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにお任せください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みに設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。
 特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

施工手順

- フルオート便器洗浄ユニットの取付け (フルオート便器洗浄付の場合)
- 分岐金具 (止水栓) の取付け
- 便器の取付穴位置の確認
- 本体着脱プレートの取付け
- シャワートイレ本体の取付け
- 給水ホースの取付け
- 電源の接続
- リモコンの位置決め・取付け
- 試運転

快適機能とは

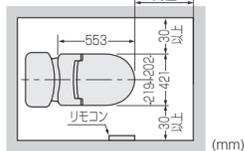
お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。
 ●便座・温水の温度 ●脱臭機能 ●節電機能
 ●便座ヒーターオートOFF
 * : 試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
 ※機種によっては、一部機能がない場合があります。

必要なスペースは？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。
 製品に向かって右側・左側ともに 30mm 以上の空間を確保してください。30mm 未満ですと本体スライド着脱ができなくなります。また、動作の妨げになる場合があります。
 ※シャワートイレ本体を取付け、取外しする際に、スライド着脱が出来るように 70mm 以上の空間を確保してください。

【オートフラッシュ C とセットの場合】
 天井が以下のような仕様の場合、フルオート便器洗浄が使用できないおそれがあります。事前にご確認ください。

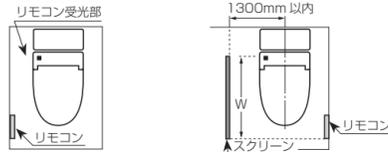
- 天井高さが 3m を超える場合
- 吹き抜けやガラスなど、光を透過する材質の場合
- 黒っぽい色調の場合
- 傾斜が付いていた、平らでない場合



リモコンの取付位置は？

リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁 (左側) に取り付けてください。

左側の壁にリモコンを取り付ける場合 右側の壁にリモコンを取り付ける場合



必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。
 また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。
 スクリーンの寸法は高さ 1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。(ただし、壁の仕上げ・色 (特に黒っぽい色) などにより受信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。)

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。

- コンセントは AC100V、定格消費電力 (310W) に適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。
- すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に合ったコンセントを設置してください。
- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- オートフラッシュ C と組み合わせで使用される場合は、コンセントが 2口必要です。
- 必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。アースターミナルは、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高くの掛からない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。
- 必ず漏電遮断器を設置してください。(漏電保護プラグ無の場合) シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ず定格消費電力を考慮した最適な漏電遮断器 (高速・高感度型 [感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以内]) を設置してください。
 ※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障するおそれがあります。

便器の確認

- 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログなどにご確認ください。
- 本体給水ホース (同梱) の使用可能な条件
 同梱の本体給水ホースは 1000mm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 800mm 未満が適切です。
 ※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-35D (1350)、CWA-35D (1500)、CWA-35D (2000) を手配してください。

準備工具

- モンキーレンチ (26mm 以上調節可のもの) またはスパナ類 (23 ~ 26mm)
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- パイプカッター (サブライ管を切断する場合)

使用する水は？

- 給水は必ず水道水および飲用可能な井戸水に接続してください。中水道や工業用水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 給水圧力は 0.06MPa {0.6kgf/cm²} ~ 0.75MPa {7.5kgf/cm²} が必要です。0.06MPa {0.6kgf/cm²} 以下の場合は、お買求めの取扱店にご相談ください。
- 給水の接続には、3 種類あります。給水方式に合った分岐金具 (止水栓) を別途手配してください。

	タンク用止水栓の場合		フラッシュバルブの場合		専用給水管の場合
	分岐金具 (止水部無)	分岐栓 (止水部付)	止水栓分岐タイプ	ユニオン分岐タイプ	シャワートイレ専用止水栓
袋ネット接続用	品番: CF-008-1	品番: CF-005-1	品番: K-011A-1 ~ 013A-1, O16A-1 ※1, 2	品番: A-8735 (定流量弁あり), A-8736 (定流量弁なし) ※3	品番: CF-93-1
クイックファスター接続用	品番: CF-007B	品番: CF-006	品番: K-011A ~ 013A, O16A ※1, 2	品番: A-8735 (定流量弁あり), A-8736 (定流量弁なし), JA-1879, A-8736I (定流量弁なし), JA-1879I ※3	品番: CF-92

- ※ 1 フラッシュバルブアダプターは複数ありますので、フラッシュバルブの形式を確認して、正しい品番を手配してください。
- ※ 2 フラッシュバルブアダプター、シャワートイレ専用止水栓の場合、接続銅管の取付方法が分岐金具と異なります。ご注意ください。
- ※ 3 フラッシュバルブの芯間距離が 120mm の場合、120mm 以外の長さの場合はカタログを参照ください。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- 警告** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

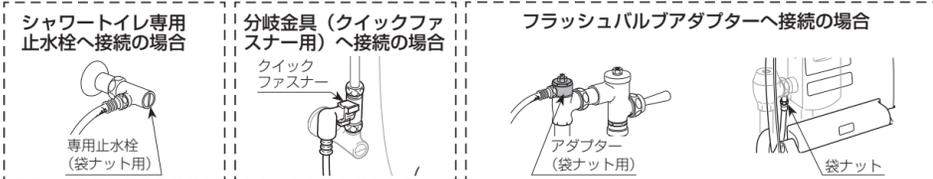
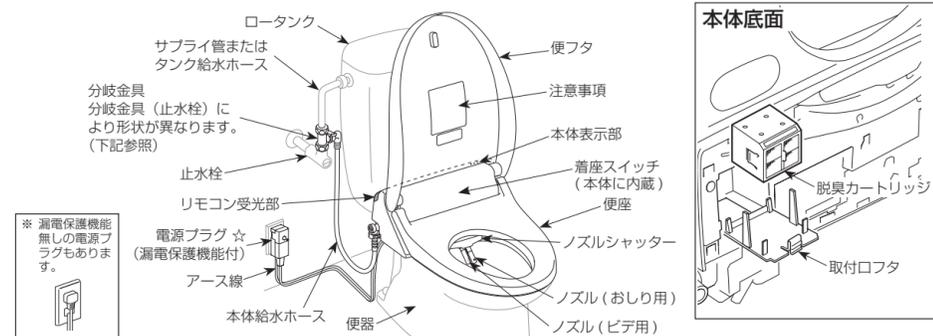
- 指示実行** 施工説明書に従い、正しく施工する。
 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 分解禁止** 分解や改造は絶対に行わない。
 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれ手禁止** ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
 ※ 感電のおそれがあります。
- 指示実行** 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
 ※ コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災のおそれがあります。
- 水かけ禁止** 本体や電源プラグに水や洗剤を掛けない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止** AC100V 以外では使用しない。
 ● タコ足配線はしない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- 指示実行** 電源プラグは根元まで十分差し込む。
 ※ 感電・火災のおそれがあります。
- 禁止** 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
 ※ 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 禁止** ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- アース接続** アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
 ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
 ※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 水場使用禁止** バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
 ※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止** 水道水および飲用可能な井戸水以外に接続しない。
 ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- 指示実行** 漏電遮断器を確実に取り付ける。
 ※ 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 ※ 漏電遮断器がない場合は、電気工事店にご相談ください。

注意

- 指示実行** 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
 ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** ● ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
 ● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
 ● ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
 ※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- 指示実行** 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
 ※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
 ※ 凍結破損により火災の原因になります。
- 指示実行** 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
 ※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

各部のなまえ

※ 機種によっては、一部機能 (☆印付) がいない場合があります。



同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。

フルオート便器洗浄付の場合

1 フルオート便器洗浄ユニット

4 本体着脱プレート 上面ボルト

5/6 シャワートイレ本体 袋ネット接続用 (品番末尾「-TU」) クイックファスター接続用 (品番末尾「-TU」)

8 壁リモコン (電池式) の場合

※ ホルダーは本体表面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。
 ※ 機種によっては、リモコンが異なる場合があります。リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

木ねじ
 プラスチックアンカー
 電池 (単形 2本)

盗難防止ねじセット (品番: A-6132)
 盗難防止ねじ (M2 x L6)
 ネット (M2 2種)
 ワッシャー (2 x 6 x 0.4)

別売品

固定ビス (H20-648)

※ 上面施工以外の機種で、本体着脱プレートを本体に固定して、本体スライド着脱機能を無効にできます。

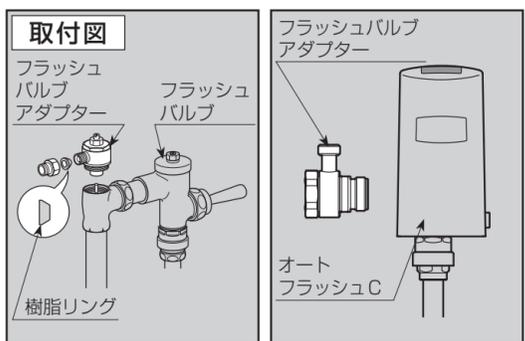
1 フルオート便器洗浄ユニットの取付け(フルオート便器洗浄付の場合)

1. フルオート便器洗浄ユニットに同梱されている専用の施工説明書に従って、フルオート便器洗浄ユニットを取り付ける。

2 分岐金具(止水栓)の取付け

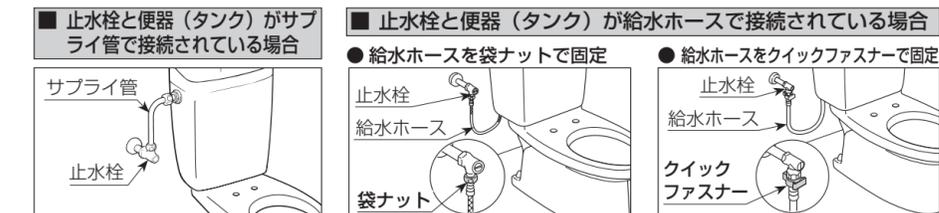
フラッシュバルブアダプターの取付け

止水栓分岐タイプ ユニオン分岐タイプ



分岐金具・分岐栓の取付け(タンク用止水栓に接続する場合)【注意 2-1 参照】

- 1. 止水栓を閉める。**
便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっばいに閉め、給水を止めます。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。
- 2. 給水の確認を行う。**
止水栓と便器(タンク)の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。



【注意 2-1】
● 付属の分岐金具または別売の CF-008-1 または CF-005-1 (止水栓付) を使用する。
※ 上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

【注意 2-2】

- 各用品の向きと順序を間違えない。
※ 間違えると漏水します。
- 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース(別売品)を使用する。
※ 漏水の原因になります。
- サプライ管の接続は確実に進行。
※ 漏水の原因になります。

【注意 2-3】

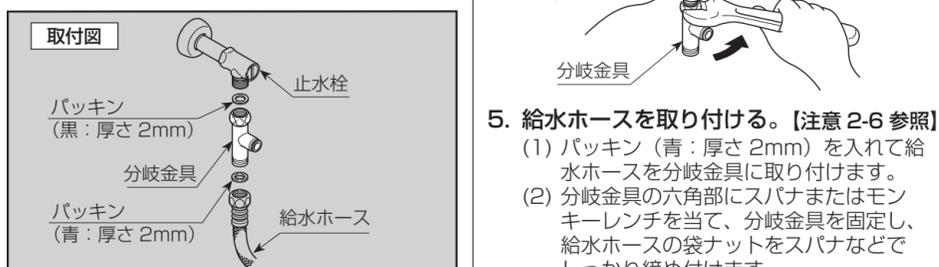
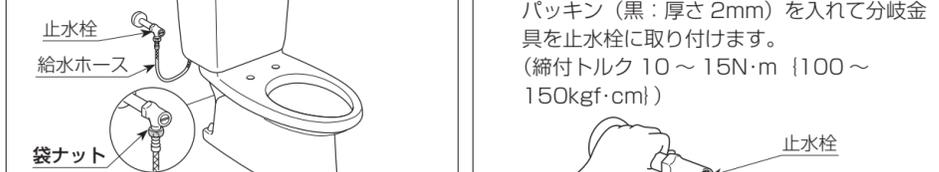
- 止水栓やサプライ管に無理な力を掛けない。
※ 破損して漏水するおそれがあります。

【注意 2-4】

- サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。
- サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。
- 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。
※ 漏水の原因になります。
※ 固定できない場合はタンク給水ホース(別売品)をご使用ください。

■ 止水栓と便器(タンク)が給水ホース(袋ナット)で接続されている場合

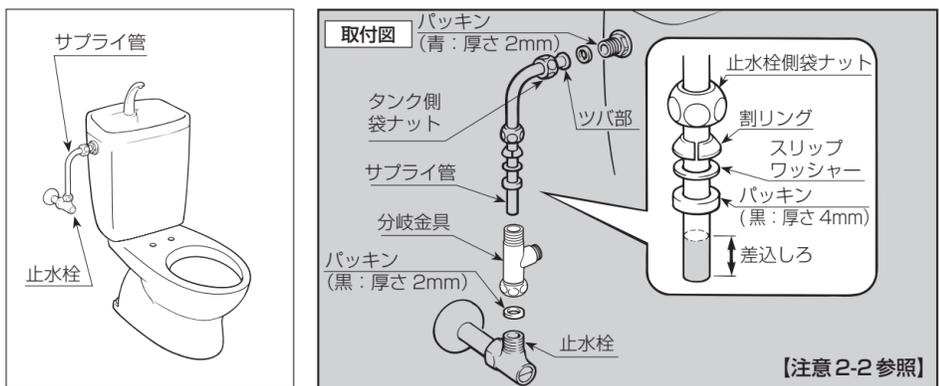
● 給水ホースを袋ナットで固定



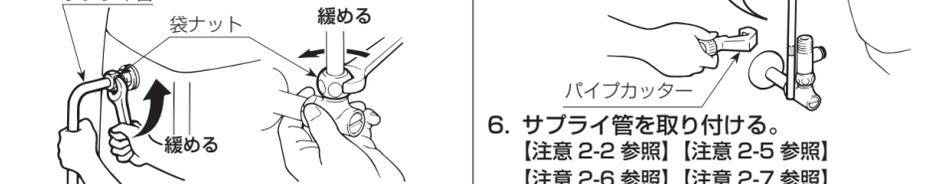
- 3. 給水ホースを外す。**
(1) 止水栓側の袋ナットを緩めます。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



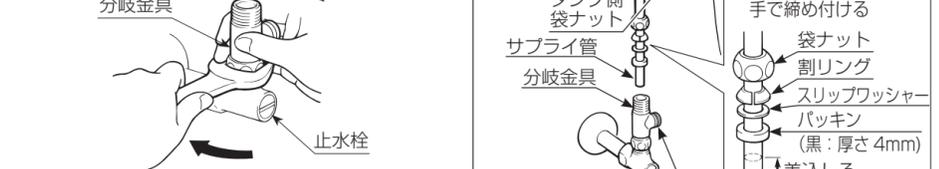
■ 止水栓と便器(タンク)がサプライ管で接続されている場合



- 3. サプライ管を外す。**
【注意 2-3 参照】
タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサプライ管を外します。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



- 4. 分岐金具を取り付ける。**
バックン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
(締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm})

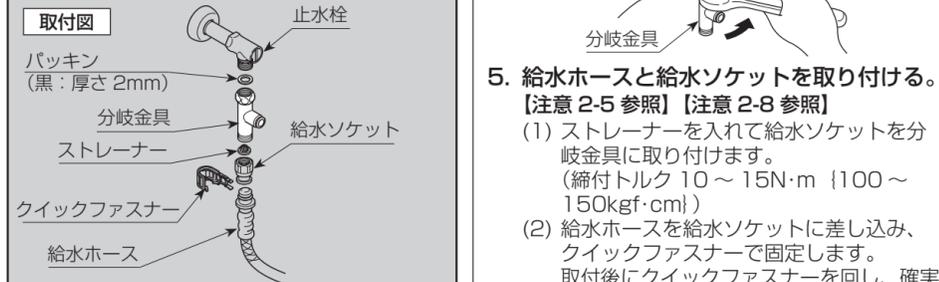
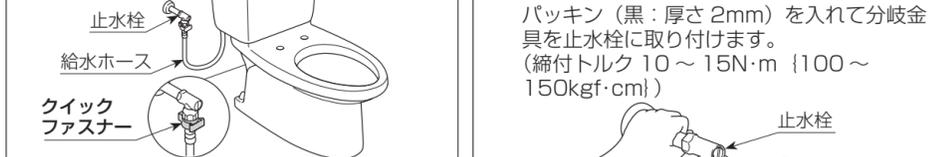


- 5. サプライ管を切断する。**
【注意 2-4 参照】
(1) サプライ管の端(ツバのない側)を現物に合わせて、分岐金具の差込しろとして 10 ~ 15mm 残るように印を付けます。

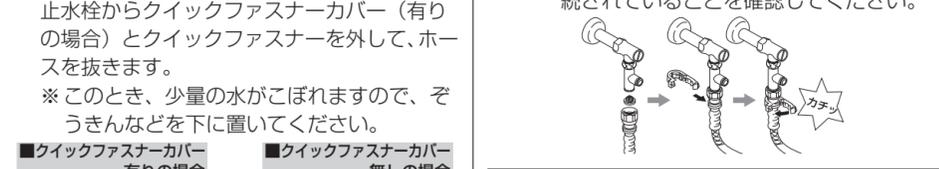


■ 止水栓と便器(タンク)が給水ホース(クイックファスナー)で接続されている場合

● 給水ホースをクイックファスナーで固定



- 3. 給水ホースと給水ソケットを外す。**
【参考 2-1 参照】
止水栓からクイックファスナーカバー(有りの場合)とクイックファスナーを外して、ホースを抜きます。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



【注意 2-8】

- クイックファスナーは確実にはめ込む。
※ きちんとはまっていしないと漏水します。



【注意 2-5】

- Oリングにキズを付けないように注意する。
※ Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

【注意 2-6】

- 当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配(品番:26-10-2)のストレーナー付バックンに交換する。
このとき同梱の青バックン(厚さ2mm)は取り付けない。

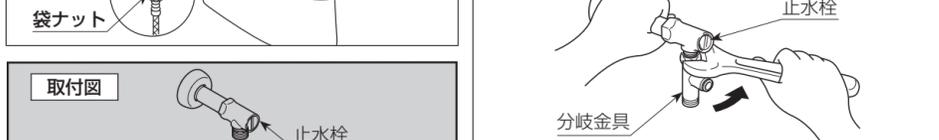
【注意 2-7】

- ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



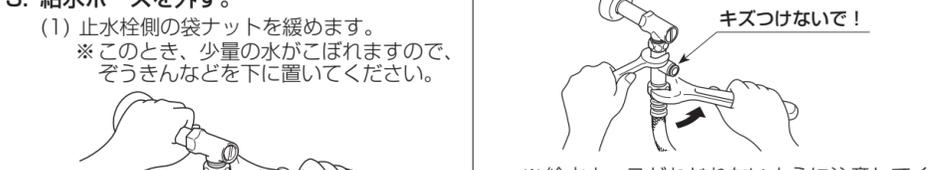
【注意 2-8】

- 4. 分岐金具を取り付ける。**
バックン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
(締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm})



- 5. 給水ホースを取り付ける。【注意 2-6 参照】**

- (1) バックン(青:厚さ2mm)を入れて給水ホースを分岐金具に取り付けます。
- (2) 分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーレンチを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナなどでしっかり締め付けます。



※ 給水ホースがねじれないように注意してください。

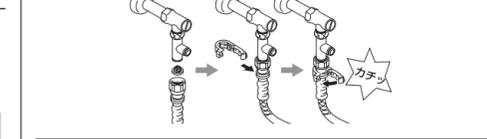
【注意 2-5】

- 6. サプライ管を取り付ける。**
【注意 2-2 参照】 【注意 2-5 参照】 【注意 2-6 参照】 【注意 2-7 参照】
(締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm})



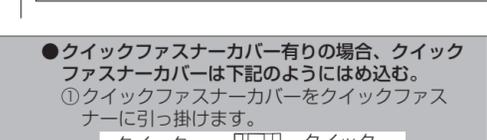
- 5. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。**
【注意 2-5 参照】 【注意 2-8 参照】

- (1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。
(締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm})
- (2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クイックファスナーで固定します。
取付後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。
また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

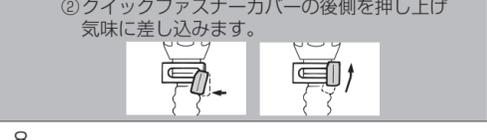


【参考 2-1】

- クイックファスナーを外す際は、クイックファスナーを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように矢印方向に押すようにして外してください。



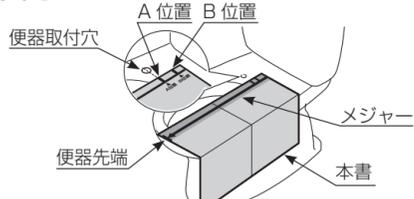
- クイックファスナーカバー有りの場合、クイックファスナーカバーは下記のようにはめ込む。



3 便器の取付穴位置の確認

便器の取付穴位置を確認する。

本説明書中の「便器先端位置」と便器の先端を合わせ、便器取付穴の位置が「A位置」または「B位置」か確認します。
※メジャーは便器の中心に置いて測ってください。
※既存の便座を取り外す場合は、【補足1】をご覧ください。



B位置

A位置

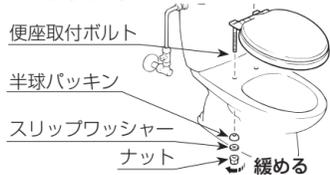
補足1

既存の便座の取外し

【参考3-1参照】

■ボルト式の場合

1. 便器裏側の便器取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
2. 便座を持ち上げて便器取付ボルトごと取り外す。



【参考3-1】

●便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。

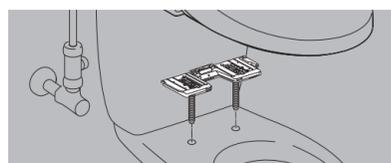
■さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。
2. さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。
3. さや2本を便器から抜き取る。



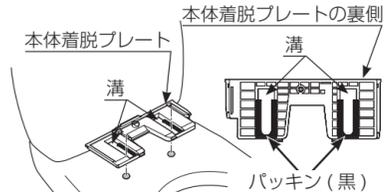
4 本体着脱プレートの取付け

必ず同梱の着脱プレートを取り付けてください。



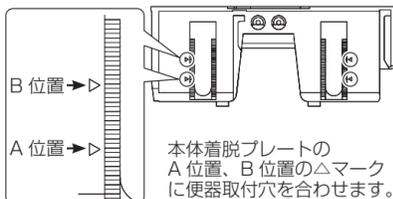
1. 本体着脱プレートを仮固定する。
【注意4-1参照】

- ① 本体着脱プレートのパッキン（黒）が付いている側を便器側に向けて、本体着脱プレートの左右の溝から便器取付穴の左右の穴が見えるように置きます。

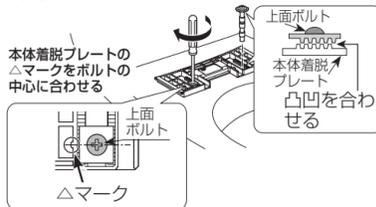


- ② 「③便器の取付穴位置を確認する」で確認した便器取付穴位置が「A位置」の場合は本体着脱プレートのA位置、「B位置」の場合は本体着脱プレートのB位置に便器取付穴を合わせます。

-9-



- ③ 上面ボルト2本を穴に差し込んで本体着脱プレートの凹凸を合わせます。
※ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。

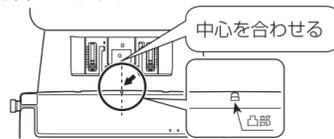


- ④ ボルトが浮かないように、上から押しながら、着脱プレートがガタつかないように仮固定します。

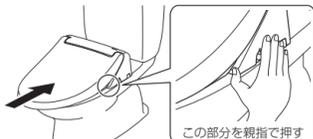
2. シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する。

【注意4-2参照】

- ① 本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
- ② 本体着脱プレートの中心と本体の中心（凸部）を合わせます。

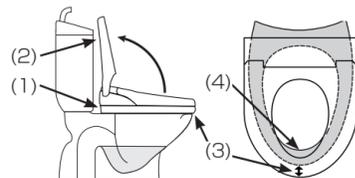


- ③ 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。
※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなりません。

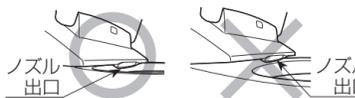


- ④ 以下の条件にあてはまる場合は、シャワートイレ本体を外して本体着脱プレートの位置を調整してください。

- (1) シャワートイレ本体の背面がタンクに当たっている
- (2) 便フタを開けると、便フタがタンクに当たり閉じてくる
- (3) シャワートイレ本体の先端が、便器の先端より出すぎている（便器先端から便座が出る位置の目安は5～20mm）
- (4) 便器のフチが上から見えすぎている



- (5) ノズルの出口が、便器のフチに乗り上げていたり、干渉したりしている。



※本体の外し方は次ページの「シャワートイレ本体の外し方」を参照してください。
※本体着脱プレートを調整する際は、A位置、B位置を目安に、上の条件が解消されるように調整してください。

3. シャワートイレ本体を外してから、上面ボルトをしっかりと締めて、本体着脱プレートを固定する。

【注意4-1参照】【注意4-2参照】
【注意4-3参照】

ボルトが浮かないように、上から押しながら、回らなくなるまでしっかりと締め付けます。それ以上回らないことを、1～2回程度回して確認し、確実に締まっていることを確認してください。（締付トルク 1.0～3.0N・m{10～30kgf・cm}）

※本体の固定が不十分だと、製品の取付け時にガタつきおそれがあります。

※本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。

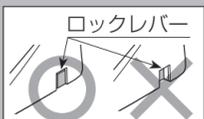
-10-

【注意4-1】

- ボルトの締め付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。
※締め付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

【注意4-2】

- 本体右側にあるロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。
- ロックレバーが奥に入った状態では、本体と本体着脱プレートが固定されておらず、本体が便器から外れる可能性があります。
- 本体を奥に突き当たるまで押し込み、しっかりと固定させてください。



【注意4-3】

- 電動ドライバーは使用しないでください。
※部品が破損するおそれがあります。

■シャワートイレ本体の外し方

本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、手前にスライドさせます。



■QE・QFタイプの場合

右図のようにシャワートイレ本体底部のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。

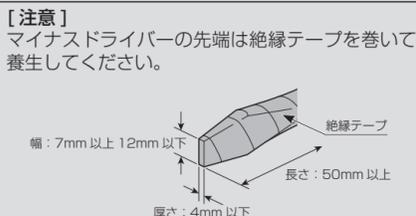
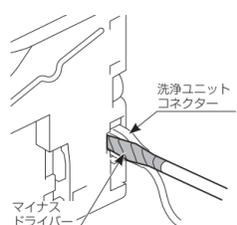


- ※コネクターはカチッと音がするまで、しっかりと接続してください。

【洗浄ユニットコネクターを外す場合】

安全のため、コネクターは容易に取り外せなくなっています。取り外す際は、絶縁テープをマイナスドライバー（呼び先端幅8×長さ150）の先端に巻き、コネクターの左側面に差し込んで、ロックピンを押さながらゆっくりと引き抜いてください。
シャワートイレ本体の部品が破損した場合は、新しい部品と交換してください。
※感電や破損のおそれがあります。

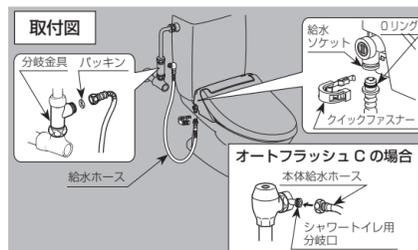
「コネクターの取外し」の方法を動画でご覧いただけます。



【注意】
マイナスドライバーの先端は絶縁テープを巻いて養生してください。

6 給水ホースの取付け

【注意6-1参照】【注意6-2参照】



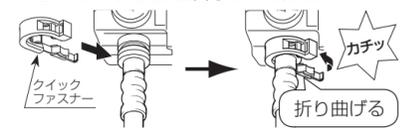
1. 給水ホースを本体側に取り付ける。

- ① 保護キャップを外します。
- ② 給水ホースを差し込みます。

【注意2-5参照】【注意6-3参照】
※給水ソケットが回転しますが、これは構造上によるもので故障ではありません。

- ③ クイックファスナーで固定します。

【注意2-5参照】【注意2-8参照】
【注意6-4参照】【参考2-1参照】
※クイックファスナーに方向性はありません。
※取付後にクイックファスナーを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



2. 給水ホースを分岐金具側、オートフラッシュC側に取り付ける。

- ① 分岐金具と給水ホースの間にパッキンをはさみ、給水ホース側の袋ナットを初めに手でいっぱい締め付けてから工具で締め付けます。

【オートフラッシュCの場合】

【参考6-1参照】

- ① シャワートイレ用分岐口を手前に回転させます。
- ② 本体給水ホースとシャワートイレ用分岐口の間にパッキン（青：厚さ2mm）をはさみ、本体給水ホース側の袋ナットを初めに手でいっぱい締め付けてから工具で締め付けます。



【参考6-1】

- オートフラッシュC、フラッシュバルブアダプターは図の位置に止水栓があります。
- ※フラッシュアダプターの場合、止水部にキャップが付いている機種もあります。

【オートフラッシュCの場合】 【フラッシュバルブアダプターの場合】



【注意6-1】

- 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意6-2】

- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。
※感電・火災の原因になります。

【注意6-3】

- 給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。
※破損して漏水するおそれがあります。

【注意6-4】

- クイックファスナーの先端が「カチッ」と音がするまで確実にハマ込む。
※漏水の原因になります。

7 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

【注意7-1参照】

- ① アース線を接続します。
- ② 電源プラグを差し込みます。
※電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。

2. 電源が入っていることを確認する。

本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。確認後は温水タンクの空だき防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。（電源投入後40秒以内を目安にしてください。）



〈漏電保護機能付の場合〉

便器取付穴位置確認メジャー

便器先端位置

-11-

-12-

警告

確実にアース線をアースターミナルに接続する。
 ※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
 ※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 7-1】
〈漏電保護機能付の場合〉
 ● 機能部の電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。
 ※ 電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。
 ● リセットボタンを押しても電源ランプが点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200Vが通電していないかを確認する。

8 リモコンの位置決め・取付け

※ リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

9 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

●水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を元の位置まで開く。【注意 9-1 参照】【注意 9-4 参照】

チェック欄	確認内容
漏水確認	漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないで、確認が困難な場合があります。)
<input type="checkbox"/>	① 止水栓部および給水ホースとの接続部
<input type="checkbox"/>	② 本体と給水ホースとの接続部

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 9-2 参照】【注意 9-3 参照】【注意 9-4 参照】

1. 電源が入っていることを確認する。
 2. 便座を押し下げ、着座スイッチを入れる。



確認機能	チェック欄	確認内容	アイコン
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり SHOWER
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと水が止まりますか？	
ビデノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ① 【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	ビデ BIDET
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと、水が止まりますか？	

※ シャワーが噴出するまでに約 1～2 分かかります。
 ※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約 15 分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄	確認内容	アイコン
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり SHOWER
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？	
暖房便座	<input type="checkbox"/>	1. 便座に手で触れ、温かくなっていますか？	便座

●フルオート便器洗浄ユニット付(Qタイプ)の場合、便器洗浄は正常ですか？

1. リモコンの【流す】を押して、便器洗浄が確実に実行されることを確認する。

●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
 2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め(品番: 75-2608)を手配して貼り付ける。
 ※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

【注意 9-1】

● 止水栓を開けたままストレーナーを外さない。
 ※ ストレーナー部から漏水します。

【注意 9-2】

● インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。

【注意 9-3】

● 着座スイッチがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

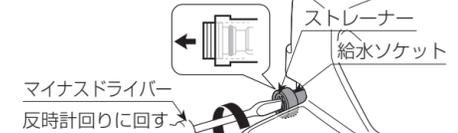
【注意 9-4】

● タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。
 浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。
 1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。
 2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

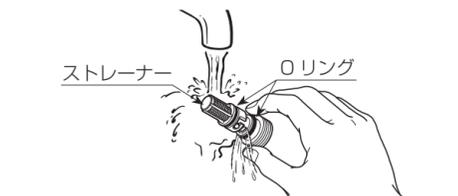
1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
 ※ 止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。
 2. 本体に向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。
 【注意 10-1 参照】
 ※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



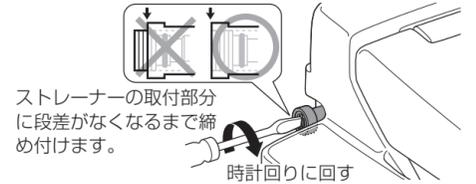
※ 工具が届かない場合は、本体を外してください。
 ※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

【注意】
 ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3. 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に取除く。



4. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける。



【取付時の注意】
 ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

5. 「止水栓」を元の位置まで開く。
 6. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

● ストレーナーの汚れがひどい場合は、ストレーナーをねじ側と網側を外し、水洗いしてください。
 ※ Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
 ※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
 ※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

【注意 10-1】
 ● ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
 ● ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかりと閉める。
 ● ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
 ※ 漏水し室内浸水の原因となります。

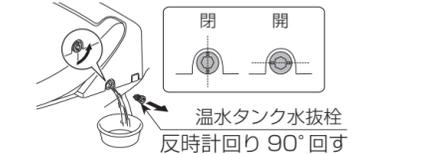
お客さまにお渡りするまでに長期間使用しない場合、または凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
 ※ 止水栓は調節されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。
 ※ 寒冷地用取扱式は、室内の水抜栓を操作します。



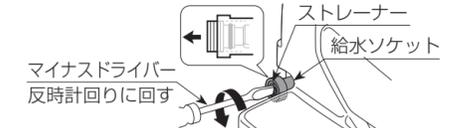
2. ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く。
 3. 電源プラグをコンセントから抜く。
 4. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。

あらかじめ水受け(約 1L 以上入るもの)を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。
 ※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。
 マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。
 6. 本体給水ホースから水を抜く。
 【注意 10-1 参照】
 ① ストレーナーの下に洗面器などを置きます。

② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や Oリング部に付いているゴミを水洗いして完全に取除きます。



③ シャワートイレ本体を便器から取り外します。
 (「[4] 本体着脱プレートの取付け」シャワートイレ本体の「外し方」参照)

④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。
 ⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



⑥ シャワートイレ本体を便器に組み付けます。
 7. 電源プラグをコンセントに差し込む。
 8. 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く。
 ※ 便座を押し下げて【おしり】を押してください。
 9. 約 5 秒後、【止】を押す。
 10. 電源プラグをコンセントから抜く。

流水音(擬音装置)の設定(壁リモコン(電池式)の場合)

流水音の設定を変更することができます。

● オート擬音の設定変更
 オート擬音 ON 時は、便座に座ると流水音が流れ、便座から立ち上がると停止します。(出荷時、オート擬音の設定は ON になっています。)

1. 【温水温度】と【便座温度】を同じタイミングで 6 秒以上押した後、【流水音】を押す。
 ※ セット完了時、本体表示部の電源ランプが、下記の回数だけ瞬点滅します。

オート擬音	電源ランプの点滅
OFF	2 回
ON	1 回

2. 設定したら【止】を 1 回押して完了する。

※ 設定中に【止】を押したり、1 分間何もなかった場合は、通常状態に戻り、設定ができなくなります。

● 流水音の音量設定
 出荷時は 6 段階中、4 段階目に設定されています。

1. 【温水温度】と【便座温度】を同じタイミングで 6 秒以上押した後、【音量+】、【音量-】を押す。

※ 音量ボタンを押すたびに、音量が 1 段階変わります。音量は 6 段階から設定可能です。設定中の音量で流水音が流れますので、お好みの音量に調節してください。

2. 設定したら【止】を 1 回押して完了する。

フルオート便器洗浄の設定変更(壁リモコン(電池式)の場合)について

フルオート便器洗浄の設定を、シャワートイレ本体で変更することができます。

■ 便器洗浄開始時間の変更

便座から立ち上がってから 10 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を切り替えることができます。切替方法は下記の通りです。

① 【便座温度】と【温水温度】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【洗浄強さ+】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
 (同じ操作をするたびに、開始時間が 10 秒(お買い上げ時) → 15 秒 → 2 秒 → 6 秒 → 10 秒…の順に切り替わります。
 (セット完了時、本体表示部の電源ランプが、下記の回数だけ瞬点滅します。)

設定時間	電源ランプの点滅
2 秒、6 秒、15 秒	1 回
10 秒	2 回

② 設定したら【止】を押して完了します。

■ フルオート便器洗浄の入/切

便座から立ち上がってしばらくすると、自動的に便器洗浄を開始します。このフルオート便器洗浄を行わないようにすることができます。切替方法は下記の通りです。

① 【便座温度】と【温水温度】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
 (セット完了時、本体表示部の電源ランプが、一瞬点滅します。)
 ※ 元に戻す場合も同じ方法で行います。
 ② 設定したら【止】を押して完了します。

■ 大洗浄・小洗浄の判定時間の変更

座ってから 50 秒以上は大洗浄、50 秒未満は小洗浄を行います。この判定時間を変更することができます。変更方法は下記の通りです。

① 【便座温度】と【温水温度】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【温水温度】と【洗浄強さ+】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
 同じ操作をするたびに、判定時間が 50 秒(お買い上げ時) → 120 秒 → 150 秒 → 50 秒…の順に切り替わります。
 (セット完了時、本体表示部の電源ランプが、下記の回数だけ瞬点滅します。)

設定時間	表示ランプの点滅
120 秒、150 秒	1 回
50 秒	2 回

② 設定したら【止】を押して完了します。

■ 大洗浄・大小洗浄の切替

フルオート便器洗浄の大洗浄・大小洗浄を切り替えることができます。切替方法は下記の通りです。お買い上げ時は、表の通りに設定されています。

① 【便座温度】と【温水温度】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【洗浄強さ+】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
 (セット完了時、本体表示部の電源ランプが、一瞬点滅します。)
 ※ 元に戻す場合も同じ方法で行います。
 ② 設定したら【止】を押して完了します。
 ※ 洗浄量はオートフラッシュ C で変更可能です。変更方法はオートフラッシュ C の施工説明書をご覧ください。

本体	お買い上げ時の設定
オートフラッシュ C 連動タイプ	大洗浄のみ
上記以外	大小洗浄

併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために(壁リモコン(電池式)の場合)

シャワートイレを併設する場合は、他プースのシャワートイレも反応し便器洗浄するおそれがあります。このような場合は、シャワートイレ本体の洗浄信号(カスタムコード)を変更してください。
 ※ オートフラッシュ C の洗浄信号も変更する必要があります。
 変更方法は、オートフラッシュ C の施工説明書「施工方法」7 各種設定「シャワートイレ自動洗浄対応設定」をご参照ください。

※ 大型壁リモコン(発電式)の場合、設定方法が異なります。大型壁リモコン(発電式)の施工説明書をご参照ください。

【注意】

● 着座スイッチが検知している状態ではセットできません。必ず座っていない状態でセットしてください。(試運転ラベルが貼ってある場合は、はがしてセットしてください。)

1. リモコンの発信信号の変更

(1) リモコンの電池を外します。
 (2) 下記のとおり、変更させたい信号に対するボタンを押したまま、電池を 2 本挿入します。
 (3) そのままボタンを 6 秒(【おしり】、【ビデ】、【止】の場合は 20 秒)以上押し続けると、電池表示が下記の回数だけ瞬点滅します。

信号番号	操作ボタン	電池表示点滅回数	操作時間
信号 0	止	4 回点滅	20s
信号 1	温水温度	1 回点滅	6s
信号 2	便座温度	2 回点滅	6s
信号 3	節電入/切	3 回点滅	6s
信号 4	洗浄強さ[-]	5 回点滅	6s
信号 5	洗浄強さ[+]	6 回点滅	6s
信号 6	おしり	7 回点滅	20s
信号 7	ビデ	8 回点滅	20s

※ お買い上げ時、「信号 0」になっています。

2. 本体の受信信号の変更

(1) 変更する機器の電源プラグをいったん抜きます。
 (2) 再度、電源プラグを差し込んでから、10 秒以内に【止】を 10 回以上連続で押します。